

学生の振り返り：

今回の台湾合宿で特に印象に残ったことは「接客態度」です。台湾の三越デパートを視察した際、コスメエリアの従業員が自分のメイクを堂々としていたことに驚きました。日本の接客意識が高いことを改めて認識しました。他にも「衛生面」や「国民性」など海外に出てみないとわからない日本の良さを再認識する事が出来ました。この海外合宿のおかげで、海外旅行へのハードルが低くなり、更に様々な経験をしたいと思いました。これからもゼミ合宿を通して貴重な経験をしていきたいと思います。

今回の台湾合宿では、普段の生活では体験できないような文化や歴史に触れることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。特に、現地の神社や博物館を巡った際には、日本との共通点や違いを学ぶことができ、改めて文化理解の大切さを感じました。また、九份では台湾独特の街並みや雰囲気に触れ、現地の人々の暮らしを垣間見ることができました。初めての海外でしたが、台湾は日本語が通じることが多く、初めて行くにはとても適していると思いました。今後はこの合宿で得た学びを大学生活にも活かし、積極的に異文化理解や交流の場に参加していきたいです。

今回の台湾合宿で特に印象に残ったのは、日本語が意外と通じることでした。合宿前から台湾では日本語が通じる場所があることは知っていましたが、実際に訪れてみると想像以上でした。観光地や商店街、屋台では日本語表記の案内が多く、店員さんも日本語を話せる方が多い印象を受けました。今回の体験を通して歴史の影響を肌で感じる事ができたので日本と台湾の歴史や文化的な繋がりについて更に調べてみたいと思いました。そして、台湾だけでなく他の国にも目を向け、広い視野を持って今後の学びに活かしていきたいです。

今回の合宿はグループ行動が多く、お互い話し合っって意見を出しあい、一緒に様々な場所を観光する事ができました。特に印象に残ったのは台北の街の雰囲気と物売りの仕方や進出している外資系の飲食店の多さでした。台北の街並みには高いビルもあり、地下街も賑わっていて発展しているとも言えますが、全体的に古い建物も多く、まだ成長途中の印象を受けました。物売りの方法は色々ありましたが、積極的に話しかけて売り込む方法は日本と異なると思いました。飲食店は台湾独自の店もありましたが、海外から進出した飲食店も多く、昼時はほとんどが埋まっており、多くの人が日常的に外食をしている事が伺えました。海外に実際に行き、その国の食文化や市場を調べる事ができ、とても楽しかったです。これからも機会があれば現地の文化をいろいろ深掘りしていきたいと思っています。

今回の合宿を通して疑問に思ったことは、台湾の生活補助や支援制度が十分に機能しているのかと言う点です。今まであまり関心が無かった社会福祉や公的扶助について興味を持つ事ができたのは、とても大きな収穫であり、有意義な時間を過ごせたという証拠だと感じました。多角的な視点から興味や意見を持ち、俯瞰して考えることに努め、今後の大学生活に活かしていきたいと思いました。